

京都府地震被害想定調査 の視点について

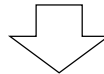
1

平成9年度被害想定

○府内の活断層及び南海地震の被害を想定

<想定項目>

- 【定量的評価】 ・震度、最大加速度、液状化危険度
・市町村ごとの死傷者、避難者、全壊家屋、炎上出火件数など被害数量
- 【定性的評価】 ・ライフラインや道路、交通被害



○府域全体の被害傾向を把握、この想定に基づき各種防災対策を実施

- ・防災基盤施設の整備(地震防災緊急事業五箇年計画、地上系及び衛星系防災情報システムの整備等)
- ・初動体制、広域的応援体制の整備(近畿2府7県相互応援協定、緊急消防援助隊受援計画策定)
- ・緊急医療体制の整備(基幹災害医療センター設置、医療品等資機材の備蓄)
- ・被災者支援体制の整備(生活必需物資の備蓄)
- ・防災訓練の実施

2

